



ホームページは

新しい年を迎えて

桂坂学区自治連合会 会長 山崎 貴治

明けましておめでとうございます。今年も温かな正月三が日でした。ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より桂坂のまちづくりに何かとお力添えをいただきありがとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年の抱負を述べる前に昨年の取組について少し振り返っておきたいと思ひます。それは、桂坂学区自治連合会 全体の見直し・改善・刷新といった課題です。



具体的には、自治連合会と自治会との関係が明確でないといった組織問題<自主防災会と自主防災部との関係も同様>、また自治会加入率を如何に維持上げていくかといった活動上の問題、そして、自治連合会財政の適正な執行といった財政問題(特に助成金問題)などの課題です。これらについては、検討委員会を立ち上げ議論し、定例役員会でも話題として取り上げてきたものです。引き続き討議していく大事な課題と考えています。

桂坂学区自治連合会も平成30年度に創立30周年の節目を迎えます。今一度、これまでの足跡を振り返り、これからの桂坂学区自治連合会の果たすべき役割を、多くの方々と共に再考する時期にきていると考えています。

次は、今年の抱負です。

一つ目は自治連合会と自治会との関係についてです。

会議によく出る話題ですが、「自治会に任せないで、連合の方でやってくれればいいのか?」、「自治連合会からの課題・仕事や行事が多いもっと減らせられないのか?」、「自治連合会や役所からの配りものも多いし、次から次にと来るが精選・調整ができないのか?」等々の苦情です。さらに、困ったことに自治連合会が自治会を下請け組織

と見なしているのではないかとといった誤解まであることです。しかし、決して正しい見方ではありません。

そもそも、自治連合会組織の成立過程をたどれば、先に自治会組織がつくられ、やがて、複数の自治会組織ができていく過程でその地域をまとめ、各自治会間の連絡・調整する代表組織として、当該自治会からの要請を受けて組織されるのが自治連合会なのです。つまり、地域の主体は自治連合会ではなく、あくまでも自治会なのです。従って、各自治会の活動が旺盛で、活発になっていくと自然にこの誤解も解消していくものと確信しています。と同時に、桂坂学区全自治会間の交流・話し合いにも活気がでてきて、連絡・調整役である自治連合会の役割もさらに明確になってくると考えています。

その他、桂坂学区自治連合会は現在16の自治会で構成される組織となりましたが、本部常任役員を全自治会から出せていない問題も残されています。この点は、昨年9月に役員人事検討委員会を立ち上げ、委員構成に各自治会副会長16名の方にも参加していただき、今日まで数回にわたり議論を積み重ねてきています。来年度には本部常任役員選出規準を整備したいとも考えています。

二つ目は自治会加入率の低下を防ぎ、加入者を増やすことについてです。

桂坂学区は開発業者のコンセプトに開発区域ごとに自治会をつくるのが掲げられていて、この地に住まう者は当初から自治会員として自治会活動に参画することを願われて出発したまちです。つまり、当初自治会加入率はほぼ100%であったということになります。永らくの間、90%強を維持していましたが、平成28年度は85%まで低下が進みました。自治会離れ問題が全国的傾向の中、わが桂坂学区にもここ数年特に顕著に表れてきています。

そこで、「対策は!」ということになります。

自治会離れを防ぐ重要な点は、桂坂地域の魅力やよさを、さらに安心・安全なまちにするために頑張っている姿や取組を、大いに語り訴え知ってもらうことです。そして、自治会脱退を考えておられる方には思い止まってもらい、また未加入の方には加入してもらえるよう話をすることです。

その際に活用できるものは、自治連合会発行の広報紙『桂坂』と自治連合会のホームページ、そして各自治会独自の活動内容の紹介、等々です。広報紙『桂坂』には、桂坂地域の魅力やよさ、また自治連合会のいろいろ

な取組が随所に掲載されています。桂坂学区自治連合会はこの広報紙『桂坂』を全戸配布していますので、大いに活用してください。桂坂学区の皆様には、この広報紙を通して自治会加入の話をお願いいただける素地は十分にできていると考えています。

最後に、三つ目は各種団体への助成金についてです。

当自治連合会では、自治連合会の方針に基づき、安心・安全なまちづくりや魅力あるまちづくりに貢献していただいている各種団体にその活動資金の全部または一部を助成しています。毎年1月末日時点での仮事業報告・仮決算書の提出を求め、執行状況が適正かどうかを精査し、次年度の助成額を本部常任役員会で決定してきました。必要に応じては各種団体とのヒアリングも実施しています。

今年度は助成額決定に際し、より公正な判断ができるよう財政問題検討委員会を立ち上げ、自治会長5名の方にも委員として参加していただき、過去数年間の事業内容と助成金の執行状況を各種団体とのヒアリングを通して精査し、助成金の適否を一定判断する取組をしました。今年度の仮事業報告・仮決算書については、この財政問題検討委員会で各種団体とのヒアリングを通して精査し、次年度の予算額を決め2月中に各種団体の事業計画案・予算計画案を決めてもらえればと考えています。

次年度からはこの方式を踏襲していきたいと思ひます。

今年も皆様方にとってよき一年となりますようお祈り申し上げます。



雪景色のメタセコイアのみち

おめでとうございます

社会福祉事業共助者市長賞

朗読サークル 木もれ日

社会福祉事業奉仕活動会長表彰

上川 正子 (ひいらぎ)

(敬称略)

第15回 音と語りのプロムナード

心温まる「語りと音楽」で、楽しいひと時をお過ごしください。

日時 平成29年2月25日(土)

午前10時～11時30分

会場 桂坂小学校 クローバーホール

プログラム

《オープニング》「野に咲く花のように」
《うた1》「サウンド・オブ・ミュージック」、
「歌が生まれる」

《語りとピアノ》『銀河鉄道の夜』(宮沢賢治・作)
原作は長いので、今回の語りは、藤城清治さんの絵本を30分程度にまとめたものを聴いていただきます。

《一緒に歌いましょう》「365日の紙飛行機」、
「花は咲く」、「花祭り」etc.
《うた2》「さとうきび畑」、「いのちのリレー」、
「ひまわり」 etc.

出演 稲葉 都 (語り・歌)

小堤利枝 (歌)

田中幸江 (ピアノ)

共催 桂坂小学校・桂坂学区更生保護女性会・
桂坂支部保護司会

地域のために充実の福祉ゾーン

昨年12月11日、洛西ふれあいの里保養研修センター跡地(本体建物区画)に開設する「社会福祉法人 洛西福祉会 七彩すまいる館」の竣工式が行われました。事業内容は、地域密着型介護老人福祉施設と住宅型有料老人ホームの運営となっています。施設見学会が下記の日程で行われます。案内チラシは各自治会で回覧しています。

平成29年1月30日(月)10:30~12:00

平成29年2月4日(土)14:30~16:00

平成29年2月5日(日)14:30~16:00

*事前予約不要。 問合せ先:075-333-7716

桂坂学区自治連合会は、平成25年5月京都市議会で洛西ふれあいの里保養研修センターが廃止される議案が可決されたのを受け、特別委員会を立ち上げこの問題に対処してきました。売却先決定までの経緯については広報紙「桂坂」173号、174号、175号、177号、178号、号外(2014.8.17)、187号、191号、194号に掲載しています。

既に、昨年3月に開設運営されている「地域密着型サービスセンター桂坂」の交流スペースは各種団体の会議や催しなどの活動に使用させていただいています。この度、地域密着型サービスセンター桂坂 管理者 浦川良太郎氏よりコメントをいただきました。

地域密着型サービスセンター桂坂は、平成29年3月30日に開設1周年を迎えます。

平素は当事業所の運営にご理解、ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

当事業所は旧ふれあい会館の閉館にあたり駐車場区画に建てられた高齢者福祉施設で、グループホームと小規模多機能型居宅介護(以下、小規模)の2つの事業を運営しております。

おかげさまでグループホームは満床で運営しておりますが、小規模は洛西地区において初めての事業ということもあり、なかなか十分にご利用には至っておりません。

しかしながら、関係機関や地域の皆様のご理解やご協力も得られ、徐々に軌道に乗り始めております。

また、旧ふれあい会館が地域コミュニティの拠点として担ってきた役割を継続して担えるようにと、1階の地域交流スペースを地域の皆様にお貸して

おりますところ、駐車スペースの不便さがあるにもかかわらず、大変多くの方にご利用いただいております。

今後はさらにこの場所を使った交流の機会を増やしていけるように検討してまいりたいと考えております。

当事業所の運営理念、「ともに歩み、ともに支え、ともに暮らすを大切にします」に掲げるとおり、小さな事業所ではありますが、地域の皆様と一緒に地域の発展をめざし、お互いに支えあえる関係を築き、いつまでもこの地で必要とされる施設でありたいと思ひ、これからも職員一同努力を続ける所存です。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

移動式資源物回収の実施

本年度は2回目の回収が下記の日程でおこなわれます。指定された公園に回収車が回ってきますので、資源物の回収・リサイクルにご協力をお願いします。

※**駐車スペースはありませんのでご注意ください**

回収日と回収場所

1月26日(木) プラザパーク かりん公園

2月24日(金) あかしあ公園 山の里公園

3月2日(木) 山の辺公園 峰ヶ堂第二公園

3月3日(金) プラザパーク かりん公園

回収時間 14:00~15:00

*荒天の場合は予告なく中止することがありますのでご了承ください。

*回収時間外や中止時に資源等を置いて行かれた場合は、地域の方への迷惑となるとともに、不法投棄(処罰の対象)となりますので、ご注意ください。

回収品目

*以下の回収品目以外は受け取れません。回収品目以外を持ち込まれた場合は、お持ち帰りいただきます。

- 剪定枝 ○陶磁器製の食器 ○記憶媒体類
- 乾電池 ○ボタン電池 ○充電式電池
- 刃物類 ○水銀体温計・水銀血圧計
- 使い捨てライター
- 小型家電(30cm×40cm×40cm以下の大きさ)

「桂坂民生児童委員よりお知らせ」

日頃は、桂坂民生児童委員協議会に対し、ご支援ご協力を賜り大変有難うございます。

さて、私たち民生委員・児童委員は昨年11月末で、3年の任期を終え、12月1日に行われた京都市民生児童委員認証式にて、再任者8名と新たに3名を加えた11名が厚生労働大臣並びに京都市長から委嘱を受けました。今後3年間の任期で就任いたしました。昨年4月に就任の老人福祉員4名と合わせ15名で、地域に密着した公共の福祉を図り社会に奉仕する精神と、基本的人権を尊重することを心に抱きながら、「高齢者福祉・障がい者福祉・児童福祉」について活動してまいります。生活上の身近な福祉に関する相談事がありましたら、ご遠慮なくお近くの地区担当民生児童委員にお声掛けください。親身にご相談をお受けし、各行政機関等と一緒に問題の解決を図ってまいります。

今月、民生児童委員の活動をご理解していただきたく、「桂坂民生児童委員だより」を発行いたしました。裏面には地区担当の民生児童委員及び老人福祉委員の連絡先を記載しております。全戸配布いたしますので、ぜひご覧ください。

桂坂民生児童委員協議会 会長 鈴木晃司

「体振」ニュース

第17回桂坂ファミリーバドミントン大会 1月15日(日)

優勝 けやき自治会 Bチーム

準優勝 けやき自治会 Aチーム

第3位 ぼぷら自治会 Aチーム

第4位 ひいらぎ自治会 Bチーム

想定外の大雪の中、欠席チームもなく、無事大会を終了することができよかった。大会延期の想定も必要かもしれない。第3セットまでもつれた試合は計5試合であったが、時間がタイトな為、試合間のムダな時間を減らす必要を感じた。不参加自治会があったことは残念である。



◆ 編集後記 ◆

センター試験に合わせるように降り始めた雪は交通に混乱を来し、屋根から落ちる雪は、樹脂製の軒やカーポートの屋根を突き破りました。

「備えあれば憂い無し」滑らない靴を履いたり、道路の雪をかいたり、おろしたり。家の常備の食材でしのいだりと、普段の生活にはない制限や緊張でした。

春まで雪としばらくのおつきあい。少し先の事を見越して心おだやかな暮らしをしたいものです。

各種団体からのお知らせ

☆社会福祉協議会

スカイクロス 2月1日(水)、2月20日(月)13:00~

3月1日(水)、3月20日(月・祝)

ふれあい広場

桂坂きつずサロン 2月8日(水)、3月8日(水)

桂坂児童館

いこいの広場「ひだまり」

2月12日(日)、3月12日(日)13:00~15:30

クローバーホール

すこやかサロン 2月18日(土)、3月18日(土)10:00~

クローバーホール

いきいき筋トレ 2月20日(月)、3月20日(月・祝)10:00~

ふれあいルーム

☆体育振興会

ソフトボール大会(桂坂) 2月5日(日)

洛西七地域スポーツの集い 2月26日(日)

☆更生保護女性会、桂坂保護司会、桂坂小学校

ふれあいコンサート「音と語りのプロムナード」

2月25日(土)10:00~11:30

☆少年補導委員会

第3回わんぱく塾 石がまでピザを焼こう 3月5日(日)

西京区民ボウリング大会 1月22日(日)

西京ボウリング大会に出場しました。結果は3位。個人ではかえで自治会の堀井 和幸さんが2位と健闘されました。

お知らせ！ 桂坂ボウリング愛好会 会員募集中！

第1金曜日と第3火曜日PM8:00~

エミナスボールで練習しています。

運動不足解消と一緒に楽しみませんか？

<連絡先>長谷川 幸子(くすのき) 332-4714